

| | | | | | |
|-----------|---|---|---------|----|----|
| 科目名 | 中国語4b | 単位数 | 1単位 | 学期 | 後期 |
| 担当教員 | 尹 美蓮 | | 実務経験の有無 | | × |
| 科目区分 | カリキュラムマップを表示する | 関連するディプロマポリシー | | | |
| ナンバリング | X-21-B-2-320236 | 国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること | | | |
| 授業の目的 | 中国語の基礎文法をすでに習得したことを前提とし、入門・初級レベルで習得した学習ポイントをおさらいしながら、準中級レベルの学習ポイントの習得を目指す。補語、副詞、介詞、接続詞などの学習・復習を通して、作文練習や会話練習をくり返し、適切な表現力を着実に身につけることを実現し、コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。中国語でのコミュニケーションから中国への興味や関心が深まることを期待する。 | | | | |
| 学修到達目標 | テキストの本文・例文を読む・訳すことだけでなく、中国語で内容を理解し、適切に把握する。課題（作文など）の発表やグループワーク（場面設定の会話練習など）を取り入れ、学んだポイントや表現をしっかりと身に付け、自分の考えを伝えることができる「使える」中国語を目指す。 | | | | |
| 実務経験との関連性 | | | | | |

| 授業計画 | |
|------|----------------|
| 第1回 | 第1課 自己紹介 (1) |
| 第2回 | 第1課 自己紹介 (2) |
| 第3回 | 第2課 私の大学生活 (1) |

| | |
|------|---------------------|
| 第4回 | 第2課 私の大学生活 (2) |
| 第5回 | 第3課 会う約束 (1) |
| 第6回 | 第3課 会う約束 (2) |
| 第7回 | 第4課 中国に行く予定である (1) |
| 第8回 | 第4課 中国に行く予定である (2) |
| 第9回 | 第5課 飛行機に乗る (1) |
| 第10回 | 第5課 飛行機に乗る (2) |
| 第11回 | 第6課 宿泊の手続きをする (1) |
| 第12回 | 第6課 宿泊の手続きをする (2) |
| 第13回 | 第7課 レストランで食事をする (1) |

| | |
|------|---------------------|
| 第14回 | 第7課 レストランで食事をする (2) |
| 第15回 | 第1課～第7課 総合復習 |
| 第16回 | 期末試験 |

| 授業時間外の学習 | |
|-----------|---|
| 【予習】時間・内容 | 必ず予習すること。【予習 2 時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習し、作文しておく。付属 CD を活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。 |
| 【復習】時間・内容 | 必ず復習すること。【復習 2 時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属 CD を活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。 |

| 成績評価 | |
|-----------|---|
| 評価基準・方法 | 【成績評価】期末試験30 %、授業・課題への取り組み（予習・復習状況、授業態度、課題など）40 %、授業参加状況 30 % を合わせて総合的に評価する。 |
| フィードバック方法 | 【フィードバックの方法】課題等は添削・チェックをしてから返却する。共通の問題に関しては授業中に説明する。個々の問題は対面で指導を行う。 期末試験後は、模範解答を配布し、必要に応じて解釈を行う。最終点数はポータルサイトにて、発表する。 |

| アクティブラーニング | |
|------------|--|
| 実施の有無 | ○ |
| 実施内容 | ディスカッション、ディベート/グループワーク/プレゼンテーション |
| 教科書/参考書 | 教科書：『温故知新！中国語』/虞萍著/朝日出版社 参考書：講義中に紹介する。 |
| 受講上の留意点等 | お願い： ①必ず予習・復習をすること。 ②不明点は随時質問をしてその都度解決すること。 ③クラスメート同士で、そして教員と積極的に中国語で会話をする事。 なお、履修する学生の実際のレベルに合わせ、適宜授業の進み方や内容を変更する場合があります。 |
| JABEE | |